

# アルテピア

社団法人 北海道美術館協力会

札幌市中央区北2条西17丁目 TEL・FAX 011-644-4025



## 小林孝巨「Tree」

油彩・キャンバス 410×300cm（北海道立釧路芸術館蔵）

小林孝巨は1960年東京生まれ。現在は東京とタイのバンコクの2都市を拠点に制作活動を続けています。日常生活の中で心に残ったことから視線を向け、そこから触発された感覚や感情を描こうとする独特の具象絵画を制作し、新しい時代の絵画表現をひらく作家の一人として注目されている画家です。

「Tree」は身近な場所で見かけた樹木の印象をもとに描かれた作品。ほぼ左右対称の簡素な構図と独特の形態感によって一本の樹が画面いっぱいに描かれ、

背後の光と枝葉の隙間から漏れにじむ光を穏やかに捉えています。絵の具を丹念に塗り込めながら、明るく微妙な色調で、一見軽妙な様に見えてその実厚みのあるマチエールと量感豊かな絵画空間を生み出しています。圧倒されるような大きなキャンバスの迫力とともに、親しみやすさや心地よさが伝わってくる秀作です。

（12月4日～平成17年1月30日開催予定の釧路芸術館所蔵品展「光のワンダーランド」にて展示予定）

# NANMOSA 流 政之展

北海道立近代美術館主任学芸員 久米 淳之

ほんとおなかのた愛らしい狸。春夏秋冬、にっこりと笑っている雪ダルマ。またはレトロなタコストープ。それらはいずれもまっ黒なミカゲ石でできた、まぎれもない彫刻作品。それぞれ「ポンサ」、八丁だるま、へなんもさストープ」とタイトルがつけられていて、札幌市内でみられる流政之の作品です。

もちろん、これが流さんの作品のすべてではありません。これまでの流さんの作品をみますと、東京の「江戸こまた」、愛知の「マッテチョ」、京都は「おきばりやす」、神戸の「神戸海援隊」、岡山の「くらしきもん」、九州は「ハカタモードン」といった具合に、なにやら地元色つつよいタイトルが目につきます。これらの作品は、「放浪の彫刻家」と呼ばれ、また「地方の用心棒」と自称する、流さん一流の地方でのかかわり方を示すもの。自分のかたちを押しつけず、

地方ならではの文化を愛し、作品にして残そうとする想いからなのです。

さてそれでは流さんの自分のかたちというものはないのでしょいか。さにあらず、八十二年にわたる流さんの生きた証は、しっかりと造型に生きています。

刀や、バチのかたちをした作品。空間を突き、切り裂くような反りあがる輪郭は、眼を見張らせる独特の緊張感をはらんでいます。青年期に父・中川小十郎の命で古流武道を習得し、後日本刀鍛錬所に働いたという経験が生きているようです。

また八十年代に「やっとなどり着いた」という、人型の彫刻《サキモリ》のかたち。サキモリとは、「防人」のこと。古来日本の国を守ってきた無名の兵士たちへの想いでしょいか、流さん自身が戦中零戦搭乗員として従軍したという体験を思い起こします。この彫刻の胴体は大きくえぐられ、

風穴が開いています。何ら腹に含むことなく、無心で立つ兵士らはどこか寂しげにもみえます。

そして庄巻は、要塞型の巨大なモニュメントへ雲の髻。世界貿易センターがテロにあうまで、三十年間ビルの谷間に構えていました。「髻」というのはみんなが集まるところを意味します。二つ並んだ三角の形は、上からみるとひし形になり、流さんによれば、これは幸せのかたちなんだそうです。

こうしたかたちと並び、さきほど例に挙げた地方色豊かな可愛らしいかたちや、あるいは女性のもつ、やわらかくまるやかな曲線と、くらみを携えているかたちもあり、すべてを含んで「ナガレ造型」は成立しています。

NANMOSA 流政之展では、すでに公開されている東大沼流山温泉の「ストーンクレージー」、奥尻島の「北追岬」の彫刻公園も同

時に会場とします。三つの会場を巡っていただければ、流さんのすべてのかたちを「ご覧になれるでしょう。」

NANMOSA は、北海道の言葉、「なんもさ」です。どうってことないよ、元気に生きなさい、と流さんが北海道の私たちにエールを贈っているのです。

展示会のご案内

## 「NANMOSA 流政之展」

会 期◎2004.9.11(土)ー10.24(日)

主 催◎北海道立近代美術館/HBC北海道放送/JR北海道/北海道新聞社/奥尻町/七飯町

会 場◎北海道立近代美術館

休 館 日/月曜日(ただし9.20、10.11は開館)、9.21(火)、10.12(火)

開館時間/9:30ー17:00(入場は16:30まで)

※9.17(金)、24(金)は9:30ー19:30(入場は19:00まで)

観 覧 料/一般1,100(1,000)円、高大学生600(500)円、小中生400(350)円

※( )内は10名以上の団体、前売料金。

※東大沼流山温泉彫刻公園ストーンクレージーの森、奥尻島彫刻公園北追岬は

野外展示につき、入場無料

# 雲の砦Jr.

圓山彬雄



雲の砦Jr. (くものとりで ジュニア)

流 政之

英名：Cloud Fortress Jr.

年号：2004

寸法：幅5,140×奥行2,620×高さ2,510mm

材質：黒ミカゲ石

アメリカによって始められたイラク戦争は、一応終結したといわれますが、未だにイラク国内は、平穏な状態がありません。その戦争のきっかけになったのは、三年前に起こったニューヨークのワールド・トレード・センターのジェット旅客機によるテロ行為です。当日私も、まるで映画の撮影現場を見て居るような、現実を起こっていることが信じられない気持ちで、ただ、テレビの画面を眺めているだけでした。まさにそのワールド・トレード・センターの庭には、流政之の黒御影による彫刻「雲の砦」が、あったことまで思いがまわ

りませんでした。

一九六九年にワールド・トレード・センターの設計者である建築家ミノル・ヤマサキから、広場に置く彫刻を依頼され、七年の期間をかけて制作した二五〇トンの黒御影の「雲の砦」が一九七五年に広場に据えられました。その硬質な形態と刃物を思わせる鋭利な稜線は、流政之の精神性を深く表現すると高い評価を受けたのですが、その「雲の砦」は、いまはありません。しかし、テロによるワールド・トレード・センターの建物の崩壊と共に消失したわけではありません。一刻を争う救助活動を確保するために、撤去されたのです。砂塵の中を歩く消防士の後ろに「雲の砦」の写っている写真を見ましたが、「雲の砦」は毅然とあって胸を打つものがありました。

あの忌まわしい日が近づいています。流政之の「雲の砦」を「雲の砦Jr.」として復活させ、道立近代

美術館の前庭に据えて、世界にテロの無い日が訪れることを願い、九月一日より「NANMOSA 流政之展」を開催することになりました。

「雲の砦」を四国の庵治で制作していた流政之は、次第に日本の地方に目を向けるようになり、一九七六年あたりから北海道をたびたび訪れるようになり、多くの人たちと親交を深めてきました。カリスマ性をそなえながらも優しく、同時に厳しい精神によって支えられ、凛とした姿勢の正しさを持ち続ける流政之の人間的魅力に惹かれ、「流政之に惚れた」と自称する人々が、誰言つことなく集まってきて「流塾」をつくり、次々と仲間を増やしてきました。道立近代美術館で「NANMOSA 流政之展」をやると決まった時から、この「流塾」は、日本全国に広がる「流政之に惚れた」仲間、声をかけ、高松、博多、大阪、名古屋、東京な

ど各地で、夫々に「流塾」を立ち上げ、展覧会を応援すると同時に、開催に合わせはせ参じることとなりました。

昨年、道立近代美術館で実績のある「安田侃の世界展」でのサポーター組織に類似した「流政之展応援隊」が組織されました。特別前売り券の販売に関わり、その他の美術館以外の活動の企画とその支援に携わってきていますが、このように道民が、見せてもらうという姿勢から、自分達から見たいものの展覧会を考えたり、参加するなど積極的にかかわれるようになることは、これからの新しい美術館の在り方に繋がるように思えます。

あのワールド・トレード・センターに健在であった「雲の砦」を想いながら、テロの無い世界を求めるメッセージと共に、札幌で世界の平和を祈ることが出来るのは、嬉しいと思います。

(建築家)

第Ⅱ期所蔵品展

# 魅惑の女性像

9月10日(金) — 11月14日(日)

## 女性―永遠のモチーフ

道立三岸好太郎美術館では、今秋、第二期所蔵品展として「魅惑の女性像」を開催します。

一九二〇年代から三〇年代前半の日本近代美術史上に大きな光彩を放ちながらも、三二歳の若さで夭折した三岸好太郎は、西洋近代絵画思潮の果敢な摂取のもとでほぼ一〇年という短い活動期間に転々と作風を変化させていきました。それにもない主題も様々に移り変わっていきましたが、初期から晩年に至るまで、ほとんど唯一の共通するモチーフに女性像があります。

技法的にも油彩、水彩、墨やグワッシュと多様な方法にまたがっているこのモチーフは、好太郎が最も愛しインスピレーションを受けた主題と



「婦人像」

言っても良いのです。

## 女性たちへの情熱

好太郎の女性に対する情熱は、周囲の誰もが認めるほど並はずれて強いものであったようです。妻の節子は「好太郎は女の顔にはホトホト惑溺する」と半ば困ったように言っていますし、好太郎自身「恋をしていなければいい絵が描けない」と節子に対しても堂々と告白しているほどでした。

ある日、蒲田駅で乗り換えの電車を待っていた好太郎は、電車の中にいるベレー帽の女性に見とれるあまり、無意識のうちに前進して鉄柱に激突したこともあるようです。それだけに好太郎は、短期間に多くの女性と恋に落ち、その副産物として数々の肖像作品を残しています。

しかしながら、描かれた女性像はどれもモデルの相貌を忠実にとらえているわけではありません。とりわけ中期以降の作品は、モデルから喚起された印象を、勢いのあるタッチですばやくキャンバスへと定着させた作品が多いようです。それによってあらわされるのは、



「赤い肩かけの婦人像」

好太郎らしいロマンティズムや思索性を秘めた女性像。激しいタッチやはつきりとした明暗対比の中にも静謐さや心理的な陰影を感じさせる作品が多いようです。

## 身近な人々の肖像も

また三岸好太郎は、魅力的な女性たちを恋情に似た高い興味関心のもとでとらえた作品ばかりではなく、時に温かく時に素朴な筆致の中で家族や身近な人物をとらえた作品や、初期のアンリ・ルソー風に描いた少女像、前衛的な絵画を描く契機となったひっかけ線による晩年の《乳首》など、多様な女性像作品を残しています。

今回の所蔵品展では、そうした女性表現に着目しながら三岸芸術の全般を見渡してみようとするものです。独特の魅惑をたたえる作品群を、どうぞこの機会に存分にお楽しみください。

# MUSEUM CALENDAR

2004. 9月～2005. 3月

美術館の特別展覧会ご案内

※貸館の場合は、会員登録は使いません

	9	10	11	12	1	2	3
近代美術館		9/11～10/24 NANMOSA 流政之展	10/31～11/21 貸館 〈北海道浅井学園 大学北方圏アート プロジェクト 国際美術展2004〉	11/23～ 12/2 貸館 〈北海道 キヌタイル 協会20周年 記念展〉	12/10～1/16 A★MUSE★LAND 2005	1/26～2/20 ヴィクトル・ ユゴーと ロマン派展	2/27～3/27 米谷雄平展
三岸好太郎	9/5 リクニエイト 三岸好太郎展への 招待	9/10～11/14 所蔵品展〈第2期〉 魅惑の女性像		11/19～1/23 大衆の心に生きた画家たち 挿絵の黄金時代		1/28～3/27 所蔵品展〈第3期〉 線描のシンフォニー	
旭川	9/5 石山寺と紫式部	9/11～10/24 特別所蔵品展 題名のない展覧会	10/30～12/19 池袋モンパルナス 小熊秀雄と 画家たちの青春展		12/25～3/13 特別所蔵品展 (道北版) 北国の名品展		3/19～ 3/27 貸館 (私の 一点)
函館	9/5 世界の絵本作家展	9/12～11/7 スーパーリアリズム展	11/14～12/23 現代女流書展		1/5～ 1/13 貸館 (団体)	1/18～ 1/30 貸館 (北海道 教員員 美術館)	2/5～3/24 函館美術館コレクション選
帯広		9/3～10/13 ピカソ、マティスと 20世紀の画家たち フォーヴィスムとキュビスム	10/22～12/1 歌麿・国貞・広重… 遊べや遊べ! 子ども 浮世絵展	12/7～1/23 名作ファンタジーとの再会 ピノッキオ★ その誕生から現代まで		1/29～3/13 森の薫り、そして巴里の風 フランス・パリー・バルビゾン	3/20～ 3/31 貸館 (回想 佐藤克 教員)
釧路	7/10～ 9/15 ヤン・ヤンセンの世界展	9/25～11/23 ～土の手をやすめて～ 佐藤忠良のスケッチブック		12/4～1/30 光のワンダーランド		2/5～3/31 光と影の彼方に	
札幌彫刻	8/27～10/11 北の彫刻展2004 -新しい具象-		10/16～3/31 平成16年後期収蔵品展 ひとかたち -躍動する人体の魅力-				
札幌芸術の森	8/29～10/11 彫刻家 堀内正和の世界展		10/17～12/5 丸山隆彫刻展		12/11～4/17 芸術の森美術館収蔵品展		

## 2004年度 移動美術館

北海道立近代美術館・旭川美術館コレクション

# 美へのいざない

2004年9月11日[土]～9月15日[水]  
午前10時～午後7時  
猿払村交流センター

2004年9月24日[金]～9月29日[水]  
午前9時～午後7時  
積丹町総合文化センター  
交流ホール

2004年10月2日[土]～10月6日[水]  
午前10時～午後7時  
小平町文化交流センター  
多目的ホール

入 場 無 料

## 近代美術館

### 米谷雄平展

二月二十七日(日)～三月二十七日(日)

米谷雄平は一九三八(昭和一三)年に台湾に生まれ、戦後、移住して父の故郷・札幌に育ちました。画家としての活動を本格的に始めた六〇年代は、北海道に前衛的な美術グループが澎湃と起こった時期であり、米谷も「北海道アンデパンダン展」、「組織」等に参加しながら、自己の絵画表現を探索しました。一九七七(昭和五二)年のインド滞在を大きな契機として、生命や精神世界への深い関心が、作品に色濃く表現



「地に還るものI」1981(昭和56)年  
当館蔵

されていきます。また海外の現代美術家との交流に力を注ぐなか、韓国伝統紙「韓紙」と出会い、絵具のにじみを生かしたり、紙をつなげて軽やかなインスタレーションとして展開するといった表現に結実しています。近年は、生地・台湾に代表される南方への憧憬を、鮮やかな色彩と有機的な形象により、生命感ゆたかに表現しています。本展では、最近作もまじえ、米谷雄平の絵画世界の魅力を堪能いただけます。

## 三岸好太郎美術館

### 大衆の心に生きた画家たち 挿絵の黄金時代

一月一九日(金)～一月三三日(日)

大正期には市民社会の成長や印刷技術の発達によって、次々と新しい雑誌や新聞が創刊されました。誌上には読者の嗜好にあわせてさまざまな小説が掲載され、石井鶴三ら洋画家たちが新たに挿絵を手がけるようになっていきます。彼らは芸術性の高い近代的な挿絵を創造し、小説と挿絵が相乗効果となつて優れた作品が数多く生まれました。さらに少年少女、幼い子供たち、それぞれの年代や性別を対象とした雑誌が刊行され、魅力ある挿絵画家を擁して人気を博しました。今回の展覧会では、挿絵界に新風をふきこんだ石井



石井鶴三「宮本武蔵」より1939年  
茨城県近代美術館蔵

の生涯と仕事を紹介いたします。

また、一九二〇年代に春陽会所属だった三岸好太郎も、先輩たちに影響を受けていくつかの挿絵や装丁の仕事をしてがけています。そのうちのひとつが異父兄子母澤寛の「笹川の繁蔵」でした。子母澤寛は、新撰組や股旅ものの小説で人気を博し、数多くの画家がその挿絵をかざりました。幕末に目を向けた小説家の兄と次なる新時代を追い続けた画家の弟、二人の生涯と仕事を紹介します。

## 旭川美術館

### 小熊秀雄と画家たちの青春展

一〇月三〇日(土)～二月一九日(日)

小熊秀雄(一九〇一～一九四〇)は、北海道小樽市に生まれ、稚内、樺太、秋田などで少年時代を過ごした後、旭川で新聞記者として活動し、詩、童話、挿絵、評論などを発表したほか、地元の絵画グループにも出品しました。昭和三年に東京に移住し、池袋周辺にあった「アトリエ村」近辺の住宅を転々としながら、そのあたりに住む豊光、麻生三郎、大野五郎、寺田政明、長谷川利行、松本峻介らの画家たちと交流しました。



小熊秀雄「自画像」  
1938年

この戦前期に小熊はすぐれた批評精神にもとづく詩人として頭角をあらわす一方、独自の個性的な眼を持つすぐれた画家として、油彩や水彩による自画像や、人物や風景などの多数の軽妙なデッサンをのこしました。本展では、小熊秀雄の画家としての側面を現在確認可能な一七六点の作品によって検証するとともに、友人たちの作品約四〇点をあわせて展示します。そして、小熊と「池袋モンパルナス」の画家たちの交流を通じ、言論が次第に抑圧されていった昭和戦前期の芸術家たちの表現や生き様を考えようとするものです。

## 函館美術館

### スーパリアリズム展

#### リアルを超えたリアル

―写真ここに極めり!

九月二二日(日)～一月七日(日)

一九六〇年代後半、アメリカを中心にあられたスーパリアリズム絵画。写真と見まごうばかりに克明に描き出されたその写実表現は、抽象的な表現が全盛だった当時の美術界に大きな衝撃を与えました。スーパリアリズムの作家たちは、ショーウィンドウに映る街角や、メタリックな輝きを放つ車やバイク、どこにでもあるような調味料や玩具など、極めて日常



リチャード・エステス「ウェイバリー・プレイス」1980年

的な光景を、写真を利用しながら、主観を交えずに克明に描写しました。カメラライオンを通して切り取られた現実を写し取る、いわば「リアルを超えたリアル」な絵画は、見るものに驚きを与えるとともに、絵画とは何か、写実的表現とは何か、という根源的な問題を改めて提示しています。今回の展覧会では、スーパリアリズムの画家二十七人による、六七点の作品によって、現在にいたるまで四〇年にわたる、スーパリアリズム絵画の動向を紹介します。

## 帯広美術館

名作ファンタジーとの再会  
ピノッキオ★

その誕生から現代まで

二月七日(火)～二月三日(日)

一八八三年フィレンツェで誕生した『ピノッキオの冒険』。鼻の長い木の人が悪戯と失敗を繰り返しながら成長し、やがて人間の心に目覚めるという物語は、世界各国で翻訳され、名作童話として今日まで親しまれています。

この展覧会では、イタリア国外で初公開となるピノッキオの初版本とその挿絵原画から、国家統一後二〇〇年という世相やトスカナ地方固有の文化を



挿絵 みるくだ  
ムッシーノによる  
原画 (1910年頃)

反映した一九世紀のフィレンツェ絵画、二〇世紀に刊行されたさまざまな挿絵本と原画、日本における最初期の翻訳版、そして現代イタリアを代表する美術家パラディーノが本展に向けて制作した絵画や彫刻まで、文学、美術、社会など多様な視点からピノッキオをめぐる約二〇〇点の作品を展覧します。

なつかしく、そして新しいピノッキオ像の数々により、時代を超えて愛され語り継がれるファンタジーの世界をお楽しみください。

## 釧路芸術館

佐藤忠良のスケッチブック

九月五日(土)～二月三日(火)祝

一九一二年(明治四五)年生まれ佐藤忠良は宮城県に生まれ夕張・札幌で育った彫刻家。フランス近代彫刻の影響下に始めたその制作は、やがて日本の風土に根差した強い生命力と精神性を秘めた詩情あふれる作品として結実し、現在は日本の具象彫刻界を代表する彫刻家としての評価を確立した。

佐藤忠良は、具象彫刻の巨匠であるのみならず、また一方で卓越した素描家としての顔を持つことで知られている。人物素描にはじまり、彫刻の手を休めた時にアトリエに置かれた果物や器、花など身近なものを素早く



「赤ちゃん帽」1984(昭和59)年

愛蔵の彫刻作品八点を合わせて紹介する。

描き留めたデッサンや、旅先の風景、近年描き続けている樹木のデッサンなど、そのモチーフは様々で素描はほとんど作家の生活の一部と化したものであり、これらの素描作品からは、対象と出会った新鮮な感動と彫刻作品とはまた違った、作家の視線に直に触れる魅力が伝わってくるかのようである。

本展覧会は、これまで彫刻展の一部として限られたかたちでしか紹介される機会がなかった佐藤忠良の素描作品に焦点を当て、作家自薦の一五〇点に、

## 芸術の森美術館

丸山隆彫刻展

一〇月一七日(日)～二月五日(日)

札幌を拠点に活動した彫刻家丸山隆(一九五四年長野県穂高町)は、一九八四年に北海道教育大学札幌分校(現札幌校)に赴任のため札幌後、道展、個展を中心に発表を続けながら、公共空間での彫刻設置を積極的に行った。作品には石や金属、布などの素材を用い、幾何学的な要素と有機的な要素が融合する抽象的な形体や、鑑賞者が作品に関われる参加型の作品など、さまざまな彫刻表現による、新しい空間概念創出の試行を追求



「机上の風景」1989年

した。都市における空間のあり方についての研究も行い、一九九三年には國松明日香氏ら札幌在住彫刻家を中心とした五人の彫刻家集団「CINQ(シンク)」を結成し、札幌市が進める公園造成に参入、札幌市南区の「石山緑地」南ブロックなどをデザイン・制作している。

本展では、約一八年に渡り札幌で制作した立体作品を中心に、丸山隆の創作の歩みを紹介する。

## 札幌彫刻美術館

北の彫刻展2004

一新しい具象

八月二七日(金)～一〇月二日(月)祝

「北の彫刻展」は、一九八二年を第一回展として北海道を活動の拠点とする作家一六名からスタートして、隔年で開催してきました。作家本来の制作活動に即した作品を出品していただけるよう、大きさや所属団体、素材などにこだわらない出品依頼を行い、これまで北海道彫刻界の一端を紹介してきました。

「北の彫刻展」は、彫刻家の育成と発表の場の提供を原点とした札幌彫刻美術館の主要な展覧会です。今後とも「北の彫刻展」を魅力的にするための新たな試みとして、展覧会の内容を明確



野村裕之  
「幸福の背中-死霊」

にし、観覧者に強くアピールすることを目的に、初めてテーマを設定しました。今回のテーマは、「新しい具象」です。これまで具象彫刻とは、人体を立体的に表現することを意味していました。本展では、具象彫刻の新たな試みを提言し、単に「かたち」を似せてつくるのではない具象彫刻の多様な可能性を、八名の作家の新作を中心に紹介します。二一世紀に向け、独自性と多様性を持ちながら、新たな視座のもと展開していく具象彫刻の方向性を、本展で感じ取っていただければ幸いです。

# A・RE・KO・RE

## information

### ■芸術週間 Art Week

11月1日(月)から7日(日)は芸術週間。ミュージアム・コンサート等多彩なアートイベントを開催します。期間中、近代美術館の“これくしょん・ぎゃらりい”、三岸好太郎美術館の入場料は無料になります。

### ■ヨーロピアン・グラスの煌めき

～近代美術館“これくしょん・ぎゃらりい”からヨーロッパ各地で花開いたガラス芸術。ヴェネツィアやボヘミアをはじめとする、その多彩な世界に触れてみませんか。9月4日(土)から12月2日(木)の開催です。



ドーム  
《孔雀文花器》  
1914年頃  
12.5×18.5cm  
当館蔵

青色と紫色を背景に孔雀の羽がゆらめく様子が、幻想的に表現された作品。フランスのナンシーに生まれたドーム兄弟は、同郷のエミール・ガレの影響を受け、アール・ヌーヴォー様式の優れたガラス作品を生み出した。

### ■駐車場料金の改定について

諸般の事情により7月13日から入館者の利用料金を次のとおり一部改定いたしましたのでご理解を願います。

○基本料金は従来どおりですが、「一時間を超える場合30分ごとに53円に改定する」

### ■三岸好太郎美術館

#### ミュージアム・コンサートのご案内

三岸好太郎美術館では、三岸の作品「オーケストラ」にちなんで、音楽家を目指す若手によるミニ・リサイタルと、プロの音楽家によるコンサートを展示室内で開催しています。9月からの予定は次の通り、開演時間はいずれも14時です。

#### ♪ミニ・リサイタル

- |       |               |
|-------|---------------|
| 第110回 | 2004年9月25日(土) |
| 第111回 | 10月30日(土)     |
| 第112回 | 2005年1月29日(土) |
| 第113回 | 2月26日(土)      |
| 第114回 | 3月5日(土)       |
| 第115回 | 3月26日(土)      |

\* \* \* \* \*

#### ♪コンサート

- |      |               |
|------|---------------|
| 第64回 | 2005年2月19日(土) |
|------|---------------|



このたび当協会の理事を退任された相馬久子様から美術振興のためにと当協会に対し多額のご寄附がありました。

7月13日、武井会長から直接感謝状を贈呈いたしました。

相馬様の益々のご健勝をお祈りいたします。



# 新会員紹介

平成16年4月～平成16年7月  
(敬称略)

—ご入会ありがとうございました—

## 4 月

札幌市 高橋昌宏  
 " 伊藤邦子  
 " 形浦昭克  
 " 工藤克子  
 " 竹村美代子  
 旭川市 三谷真澄  
 札幌市 谷船木綾子  
 " 及川曜子  
 網走市 田代佐知子  
 旭川市 加藤克巳  
 札幌市 倉重はるみ  
 " 伊藤千榮子  
 " 佐藤妙子  
 " 大瀬治子  
 旭川市 伊藤かよ子  
 札幌市 中山誠喜子  
 " 小瀬川京子  
 江別市 小杉本由紀子  
 札幌市 " 池田優子  
 " " 細木博子  
 " " 河合キヨ子  
 " " 長野美年子  
 静内町 伊藤新一郎  
 札幌市 札幌市 迫田万千代  
 恵庭市 坂本貞幸子  
 " 坂本恵子  
 札幌市 安田利子

## 5 月

札幌市 竹本めぐみ

札幌市 柿後藤崎大和  
 " 若藤原尚子  
 " 相原原勝二  
 江別市 高橋良子  
 恵庭市 久保優子  
 岩見沢市 大西婦美子  
 札幌市 佐久間千鶴子  
 " 渡辺耐子  
 " 林恵子  
 苫小牧市 茂呂洋造  
 岩見沢市 高田恵美子  
 札幌市 富樫正子  
 " 石川弘子  
 岩見沢市 林田和子  
 札幌市 吉田美代子  
 " 小熊晶子  
 " 桜井光雄子  
 " 佐々木琴子  
 小樽市 小田節子  
 札幌市 小西村訓子  
 " " 島岡孝子  
 " " 安島恭子  
 " " 丸島均子  
 " " 畑中恵美子  
 " " 深谷千鶴子  
 " " 土岐恭子

## 6 月

札幌市 渡辺朝江  
 小樽市 佐藤幸子  
 札幌市 今本良子  
 " 浜尾美紗子

札幌市 林東志菜  
 " 斎藤裕青邨  
 " 田中友美子  
 " 川畑摩沙子  
 " 古田美智子  
 " 町田久美子  
 " 藤野伯文子  
 " 佐々木素子

## 7 月

帯広市 磯野恭永  
 札幌市 畔田俊彦  
 千歳市 北島裕子  
 江別市 宮下瑞枝  
 札幌市 桜庭たか子  
 " 豊島勢夫  
 " 馬場康博  
 " 中村沢麗子  
 " 田松悦子  
 倶知安町 村上秀樹  
 札幌市 村上芳郎  
 " 羽二生洋子  
 " 川又郁子  
 " 伊藤麻美子  
 " " 村上井はつ子  
 " " 長皆川のり子  
 " " 瀬藤尾好子  
 " 陣内和敏

## 4002NOOJ

五月二十八日(金)の総会後、年一度の「つどい」に知り合いの方を誘って参加の会員も多く、一三四名が近代美術館ロビーに集いました。

水上館長による『NANMOSA 流政之展』(9・11～10・24)の紹介と、乾杯音頭「なんもさ」でパーティが始まりました。あちらこちらで、お料理やワインをいただきながら楽しく語らう輪が出来ていました。

淡いピンクのテーブルクロスの上には小花が飾られ会場のロビー全体がやさしく包まれて、ピアノ伴奏とシャンソンを聴きながらの心地よい時が流れました。

今年のテーマは「マリー・ローランサン」。「これくしょん・ぎやらりい」で開催(5・29～8・29)の『視線のエレガンス/パリを描く』に因んで企画したもので、近代美術館のご協力で開催前にマリー・ローランサンの作品「三人の娘」「犬と三人の乙女」の鑑賞



が実現しました。オリジナルワインやチョコがテーブルに並んだほか、「つどい」限定でチョコやジャム、ゼリーを販売した売店には、人気が集まりました。

# 事務局だより

平成16年度  
通常総会  
開かれる

平成一六年度通常総会開催の報告をします。

去る五月二十八日道立近代美術館講堂において総会が開かれ、提案議題について審議されました。その概要について、主なものを報告します。

議案第一号の平成一五年度事業及び収支決算報告については原案どおり承認可決されました。

その中でも、特に昨年一二月をもつて「同伴者観覧料」廃止に伴う会員数の減少が著しく、結果収入減につながっていることや、駐車場会計についても管理委託費や除雪委託料の見直しを行い、経費節減に努めたが、結果的に売店会計より、一般会計に一五〇万円、駐車場会計に一七〇万円を繰り入れたことを説明。

なお会員数については、平成一六年度三月末で法人・個人会員合計一、五二七人、前年比一三七七人の減となっております。

平成一五年度の収支決算については「表一」のとおりです。

議案第二号の平成一六年度の事業

計画、収支予算案については議案どおり承認可決されました。

ここで、平成一六年度の事業計画及び予算について報告します。

年度事業は次のように計画しています。

ただし、すでに事業が終了したものの、進行中のももありますので、ご了承ください。

一 道立近代美術館の事業活動に対するボランティア活動協力

常設展の解説、美術関係資料の整理、アミューズランド事業の協力のほか、芸術週間での事業及び

三岸好太郎美術館での解説等ボランティア活動による協力等

二 美術展観覧者増員への協力  
会員証利用による美術展観覧者の増員協力、観覧料の負担

三 美術館普及活動への協力  
会報・ポスター配布、展覧会案内送付等の広報活動及び館外での美術館普及活動（美術への誘い事業）等

四 美術講座の実施  
前年度から、受講者を一般とボランティア希望者に分けて実施。

但し、両者共通で一〇講座を五月～七月（終了済）。ボランティア希望者にはその後六講座を八月～

一〇月、さらに共通・専門養成研修を一〇月～三月まで実施する。

五 「ついで2004」の実施  
通常総会の終了後開催、一三四名が参加、近代美術館一階ホールでシャンソンとワインパーティが開かれ、会員の交流と親睦を図った（終了済）

六 「Junior Art Club」の実施  
子供たちを対象に、美術に対する関心を高める（年四回 ミニ三回も含む）

七 美術研修旅行の企画・実施  
(1) 道内旅行（休止）  
(2) 海外旅行は昨年に引き続き世界的国情不安により休止とした  
(3) 道外旅行

◎東京内近郊美術館めぐり  
九月二十八日～十月一日 三泊四日

◎徳島・高松・尾道方面美術館めぐり  
十一月一日～六日 五泊六日

八 図録・絵はがき等の作成・販売

九 「美術館協力会賞」の贈呈  
学生美術全道展への後援と最優秀作品へ賞の贈呈（副賞付き）

一〇 会員の拡大・PR

一一 売店・駐車場の経営・管理

一六年度収支予算については「表二」のとおりです。

議案第三号の会員の資格喪失（会費を二分分以上納入しないときは除名する）については、個人会員七〇名が資格喪失として原案どおり承認可決されました。

議案第四号の役員改選について、石水勲理事、斎藤一郎理事、相馬久子理事の退任、それ以外の理事については再任される。また、一名の理事の欠員と三名の理事の後任については、現監事の馬場昭・藤井勇吉の両氏を充て、東志青邨・藤井正浩の両氏を新たに理事に選出した。

新監事には、新たに阿部典英・荒井善則、両氏を選出し原案どおり承認可決されました。

また、役職については、浦田専務理事から、理事の互選により退任者を除き現職は再任（会長 武井正直、副会長 植村敏・安念正義）、但し、副会長一名の欠員には、小林敬明理事を選任、浦田専務理事の退任に伴う後任には、藤井勇吉理事が選任されたこと報告がなされた。

以上をもって全議題を終了、閉会となった。

(表1) 平成15年度収支決算総括表 (平成15年4月1日から平成16年3月31日まで)

(単位:円)

収 入 の 部					支 出 の 部						
科 目	合 計	一般会計	特 別 会 計		内部取引 消 去	科 目	合 計	一般会計	特 別 会 計		内部取引 消 去
			売店会計	駐車場会計					売店会計	駐車場会計	
基本財産運用収入	1,800	1,800	0	0	0	事業費	41,569,056	9,054,063	20,738,808	11,776,185	0
会費収入	11,968,000	11,968,000	0	0	0	管理費	5,732,707	5,732,707	0	0	0
事業収入	32,276,090	1,314,500	20,740,839	10,220,751	0	特定預金支出	0	0	0	0	0
寄付金収入	30,000	30,000	0	0	0	繰入金支出	0	0	3,200,000	0	△3,200,000
繰入金収入	0	1,500,000	0	1,700,000	△3,200,000	予備費	0	0	0	0	0
特別収入	157,847	157,847	0	0	0	当期支出合計	47,301,763	14,786,770	23,938,808	11,776,185	△3,200,000
雑収入	1,585	28	1,540	17	0	当期収支差額	△2,866,441	185,405	△3,196,429	144,583	0
当期収入合計	44,435,322	14,972,175	20,742,379	11,920,768	△3,200,000	次期繰越収支差額	24,252,664	2,690,038	21,094,383	468,243	0
前期繰越収支差額	27,119,105	2,504,633	24,290,812	323,660	0	支出合計(B)	71,554,427	17,476,808	45,033,191	12,244,428	△3,200,000
収入合計(B)	71,554,427	17,476,808	45,033,191	12,244,428	△3,200,000	予算額(A)	84,516,000	20,800,000	53,292,000	13,824,000	△3,200,000
予算額(A)	84,516,000	20,800,000	53,292,000	13,824,000	△3,200,000	差異(A-B)	12,961,573	3,123,192	8,258,809	1,579,572	0
差異(A-B)	12,961,573	3,123,192	8,258,809	1,579,572	0						

(表2) 平成16年度収支予算総括表 (平成16年4月1日から平成17年3月31日まで)

(単位:千円)

区 分	収 入 の 部					支 出 の 部				
	科 目	予算額	前年度予算額	差 異	備 考	科 目	予算額	前年度予算額	差 異	備 考
一 般 会 計	基本財産運用収入	2	3	△1	定期預金利息	事業費	7,463	13,223	△5,760	
	会費収入	11,964	15,165	△3,201	法人、個人会員等年会費	美術館活動協力事業費	6,772	11,930	△5,158	V線線路部線路部線路
	事業収入	1,170	1,370	△200	美術館受講料・ついで会費等	美術館講座等開催事業費	640	690	△50	美術館講座制作費・ついで会費等
	寄付金収入	10	10	0		美術館研修視察事業費	0	202	△202	コーディネーター旅費等
	繰入金収入	0	1,500	△1,500	売店会計から繰入	美術優秀創作頭影事業	51	401	△350	協力会員の贈呈経費(商品券)
	特別収入	6	37	△31	美術振興基金利息	管理費	6,119	6,554	△435	運営管理費
	雑収入	11	11	0	普通預金利息	特定預金支出	157	37	120	美術振興基金積立預金支出
						予備費	0	0	0	
						当期支出合計	13,739	19,814	△6,075	
						当期収支差額	△576	△1,718	△1,142	
					次期繰越収支差額	2,114	786	1,328		
					合 計	15,853	20,600	△4,747		
特 別 会 計	売上収入等	26,000	29,000	△3,000	売上収入	事業費	25,049	27,418	△2,369	仕入、賃金、施設賃借料等
	雑収入	2	2	0	預金利息	繰入金支出	0	1,500	△1,500	
	当期収入合計	26,002	29,002	△3,000		当期支出合計	25,049	28,918	△3,869	
	前期繰越収支差額	21,094	24,290	△3,196		次期繰越収支差額	22,047	24,374	△2,327	
					合 計	47,096	53,292	△6,196		
駐 車 場	駐車料金収入	10,598	13,500	△2,902	駐車場使用料収入	事業費	10,528	13,154	△2,626	管理委託料、土地借上料等
	雑収入	1	1	0	預金利息	繰入金支出	0	0	0	
	当期収入合計	10,599	13,501	△2,902		当期支出合計	10,528	13,154	△2,626	
	前期繰越収支差額	468	323	145		次期繰越収支差額	539	670	△131	
					合 計	11,067	13,824	△2,757		
内部取引消去	0	△1,500	1,500		総合計	0	△1,500	1,500		
総合計	74,016	86,216	△12,200		総合計	74,016	86,216	△12,200		

WELCOME

# アルテピア会員募集

## 世界の art に出会える

アルテピアは美術館に協力し、美術の普及振興につとめる組織です。

詳細は北海道美術館協力会(アルテピア)へ

札幌市中央区北2条西17丁目 TEL・FAX 011-644-4025

ホームページアドレス <http://www.artepia.or.jp>

### ミュージアム・スクール 2004



7月23日(金)から8月8日(日)までの間、ミュージアム・スクール2004の一環として、近代美術館2階ロビーにおいてミニアトリエ「プラスチック・カップに水中花を咲かせよう!」が開催されました。夏の強い日差しの中、親子連れや学生をはじめ、大勢の方が参加され、それぞれ自作の涼しげな水中花をお持ち帰りいただきました。



人は同じ作品を見ても、それぞれに想いは違いますが、それだからこそ、楽しめるのだと思います。さあ、これからは「文化の秋」の本番です。  
 "Art Week" も楽しみましょう!

### 編集だより

八月に近代美術館で開催された「ピカソ展」は、多くの来場者でにぎわいを見せました。

四国・尾道の美術館をめぐる内容充実の国内美術研修の旅。十一月一日(月)～十一月六日(土)の五泊六日のコースです。  
 大塚国際美術館、徳島近代美術館、高松市美術館(「ミュンシャ展」、イサムノグチ庭園美術館、平山郁夫記念館を鑑賞予定です。  
 申込期間 九月二二～二七日  
 申込先 東急観光  
 〇二二二二二二二〇八二二

